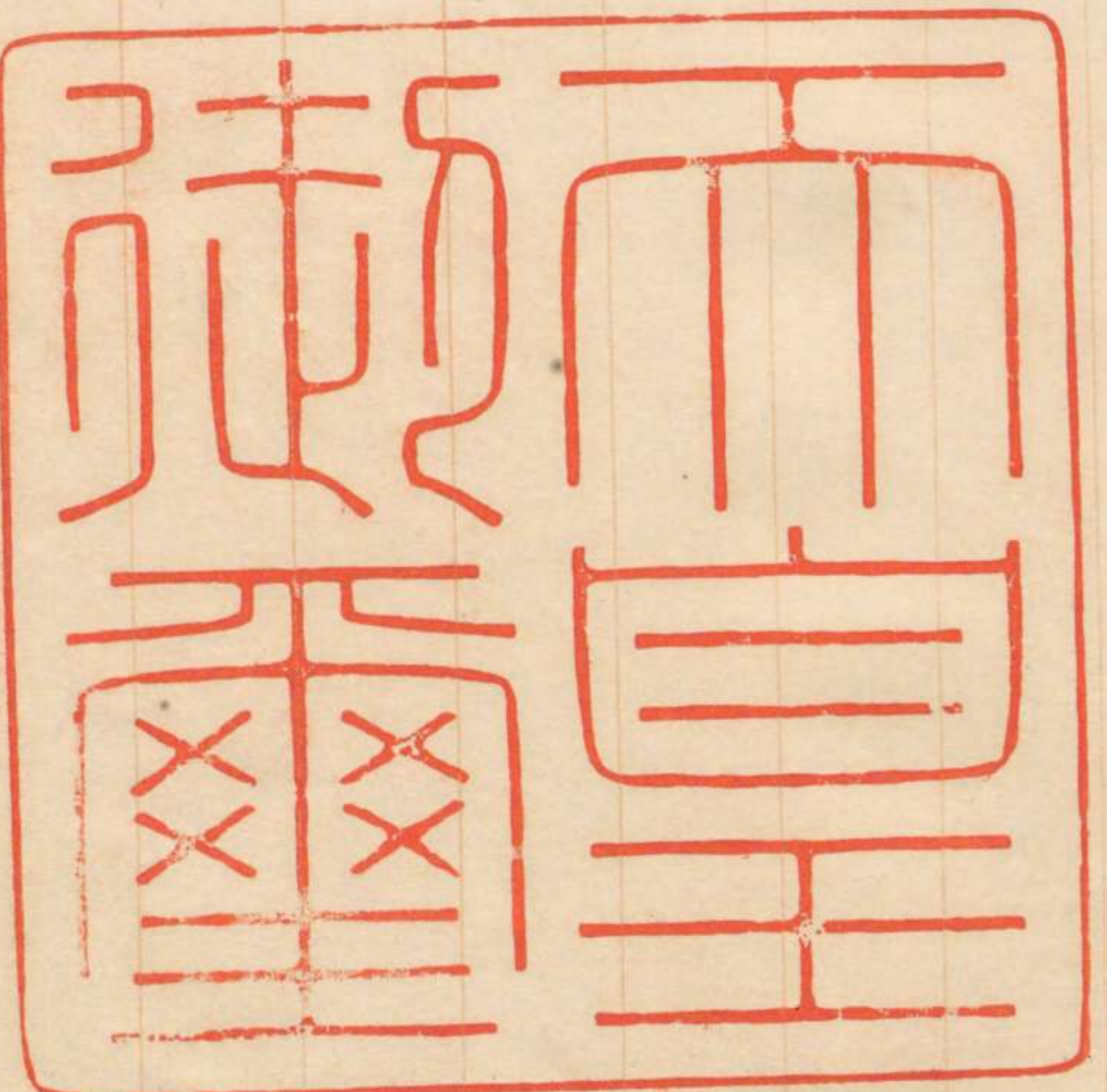


勅令第七十一號



朕海軍艦船條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム

睦仁



明治二十九年三月二十九日

月 日

海軍大臣侯爵西郷從道

勅令第七十一號

海軍艦船條例

第一條 艦船ハ鎮守府ヲ本籍トス

第二條 艦船艦隊ニ編入セラレ或ハ他

ニ附属スルトキハ各其ノ長官ニ屬ス

ト雖本籍ヲ變セス解役解隊若クハ所

屬ヲ免セラルルトキハ別ニ命令ナク

シテ本籍ニ復歸ス

第三條 艦船ヲ左ノ四種ニ別ツ

第一種軍艦

内 閣

第二種軍艦

水雷艇

雜役船舟

第一種軍艦トハ戦闘ノ役務ニ堪フル軍艦ヲ謂フ

第二種軍艦トハ戦闘ノ役務ニ堪ハサルモ常務ヲ帯ヒ航行シ得ル軍艦ヲ謂フ

水雷艇トハ魚形水雷使用ノ主旨ニ從ヒ特種ノ構造ヲ有シ戦闘ノ役務ニ堪

フル艇ヲ謂フ

雜役船舟トハ軍艦水雷艇及之ニ裝置セル小蒸汽船端舟ヲ除クノ外總テ他ノ船舶舟艇ヲ謂フ

第四條 軍艦艦隊ニ編入セラレ又ハ警備練習測量其ノ他特別ノ役務ニ服スルトキハ之ヲ在役艦ト稱シ其ノ他ハ之ヲ豫備艦ト稱ス但製造中ノモノハ未成艦ト稱ス

第五條 在役艦ニ左ノ職員ヲ置ク

艦長

海軍大佐若クハ少佐若クハ大尉

副長

海軍少佐若クハ大尉

航海長

海軍少佐若クハ大尉

砲術長

海軍少佐若クハ大尉

水雷長

海軍大尉

機関長

海軍機関大監若クハ機関

少監若クハ大機関士

分隊長

海軍大尉及大機関士

軍醫長

海軍軍醫少監若クハ大軍

醫

主計長

海軍主計少監若クハ大主計

前項ノ外海軍少尉少機関士大軍醫少軍醫犬主計及少主計ヲ置ク本條ノ職員ハ軍艦ノ構造及兵備ニ應シ其ノ一部ヲ置カサルコトアルヘシ練習測量其ノ他特別ノ役務ニ服スル軍艦ニ在テハ本條ニ掲クル職員ノ外役務ニ必要ノ職員ヲ置クコトヲ得

第六條 艦長ハ所管長官ニ隸シ部下ヲ  
統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ兵備ヲ  
監理シ艦ノ保安ニ任シ艦務ヲ總理ス  
第七條 艦長ハ部下ノ職員事故アルト  
キ若クハ缺員中ハ他ノ職員ヲシテ其  
ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得  
第八條 艦長ハ所在諸艦ノ先任艦長タ  
ルトキハ其ノ諸艦ヲ指揮スルノ權ヲ  
有ス但將旗代將旒現在スルトキハ此  
ノ限ニアラス

第九條 艦長ハ砲術長水雷長若クハ其  
ノ一ヲ置カサル艦ニ在テハ大尉タル  
分隊長若クハ水雷長或ハ砲術長ヲシ  
テ該職務ヲ執ラシムルコトヲ得  
第十條 艦長ハ第三十一條ニ掲クル諸  
員ニ臨時職務ヲ命スルコトヲ得  
第十一條 副長ハ艦長ヲ輔佐シ艦長ノ  
命令ヲ執行シ艦内ノ定則ヲ維持ス  
第十二條 航海長ハ艦長ノ命ヲ承ケ航  
路及水路嚮導ニ関スル事ヲ掌リ主管

ノ器具物品ヲ整頓シ艙内貯積ノ方法  
ヲ監掌ス

第十三條 砲術長ハ艦長ノ命ヲ承ケ主  
管ノ兵備ヲ整頓シ砲術ノ教授ヲ監  
掌ス

第十四條 水雷長ハ艦長ノ命ヲ承ケ主  
管ノ兵備ヲ整頓シ水雷術ノ教授ヲ監  
掌ス

第十五條 大尉タル分隊長ハ艦長ノ命  
ヲ承ケ各部署ノ長ト為リ隊員ノ紀律

ヲ維持シ分  
又教育訓練ニ  
要具ヲ整頓シ

第十六條 航海長ハ砲術長及大尉  
タル分隊長ハ交番當直  
勤務ニ服ス  
此ノ場合ニ於テハ當直士  
下稱シ艦  
長ノ命ヲ承ケ艦務ヲ處理ス  
時宜ニ  
依リ艦長ハ副長ヲシテ當直ノ勤務ニ  
服セシムルコトヲ得

第十七條 少尉ハ艦長ノ指定ニ依リ副  
長航海長砲術長水雷長若クハ大尉

ノ器具物品ヲ整頓シ艙内貯積ノ方法  
ヲ監掌ス

第十三條 砲術長ハ艦長ノ命ヲ承ケ主  
管ノ兵備ヲ整頓シ砲術ノ教授ヲ監  
掌ス

第十四條 水雷長 艦長ノ命ヲ承ケ主  
管ノ兵備ヲ整頓シ水雷術ノ教授ヲ監  
掌ス

第十五條 大隊長ハ艦長ノ命  
ヲ承ケ各小隊長ハ艦長ノ命  
為リ隊員ノ紀律

ヲ維持シ分擔ノ兵器及要具ヲ整頓シ  
又教育訓練ニ関スル事ヲ掌ル

第十六條 航海長、砲術長、水雷長及大尉  
タル分隊長ハ交番當直ノ勤務ニ服ス  
此ノ場合ニ於テハ當直士官ト稱シ艦  
長ノ命ヲ承ケ艦務ヲ處理ス但時宜ニ  
依リ艦長ハ副長ヲシテ當直ノ勤務ニ  
服セシムルコトヲ得

第十七條 少尉ハ艦長ノ指定ニ依リ副  
長、航海長、砲術長、水雷長若クハ大尉



ル分隊長ニ属シ其ノ命ヲ承ケ服務ス  
第十八條 少尉ハ交番當直ノ勤務ニ服  
ス此ノ場合ニ於テハ副直士官ト稱シ  
當直士官ノ命ヲ承ケ服務ス但時宜ニ  
依リ艦長ハ之ニ當直士官ノ勤務ヲナ  
サシムルコトヲ得

第十九條 機関長ハ艦長ノ命ヲ承ケ部  
下ノ紀律ヲ維持シ又教育訓練ニ任シ  
機関及艦體ニ関スル事ヲ掌ル  
第二十條 大機関士タル分隊長ハ艦長

ノ指定ニ依リ機関長ノ命ヲ承ケ各部  
署ノ長ト為リ隊員ノ紀律ヲ維持シ分  
擔ノ諸機械ヲ整頓シ又教育訓練ニ関  
スル事ヲ掌ル

第二十一條 大機関士タル分隊長ハ交  
番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テ  
ハ當直機関士ト稱シ機関長ノ命ヲ承  
ケ服務ス但時宜ニ依リ艦長ハ機関長  
ヲシテ當直ノ勤務ニ服セシムルコト  
ヲ得

内

局

第二十二條 少機関士ハ艦長ノ指定ニ依リ機関長若クハ大機関士タル分隊長ニ属シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十三條 少機関士ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ副直機関士ト稱シ當直機関士ノ命ヲ承ケ服務ス但時宜ニ依リ艦長ハ之ニ當直機関士ノ勤務ヲナサシムルコトヲ得

第二十四條 軍醫長ハ艦長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ニ関スル事ヲ掌ル

第二十五條 第五條第二項ニ掲クル大軍醫及少軍醫ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十六條 主計長ハ艦長ノ命ヲ承ケ會計給與ニ関スル事ヲ掌リ及庶務ヲ掌理ス

第二十七條 第五條第二項ニ掲クル大主計及少主計ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十八條 艦長缺員中ハ副長其ノ職

務ヲ執リ艦長事故アルトキハ副長其ノ職務ヲ代理ス

第二十九條 副長事故アルトキハ次席將校其ノ職務ヲ代理シ副長缺員中若クハ副長ヲ置カサル艦ニ在テハ艦長次席ノ將校其ノ職務ヲ執行ス

第三十條 在役艦ニハ第五條ニ掲クル職員ノ外海軍准士官下士卒ヲ置キ各上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

第三十一條 在役艦ニハ前諸條ニ掲ク

ル職員ノ外練習若クハ實地研究ノ為メ海軍士官准士官下士卒ヲ乗組マシムルコトヲ得

第三十二條 前條ノ諸員ハ第十條ニ依リ命セラレタル職務ニ付テハ其ノ責ニ任スヘシ

第三十三條 豫備艦ハ通常軍港ニ繫留シ第五條第三十條及第三十一條ニ掲クル諸員ヲ適宜ニ置クコトヲ得

第三十四條 水雷艇役務ニ服スルトキ

ハ之ヲ在役艇ト稱シ其ノ他ハ之ヲ豫  
備艇ト稱ス但製造中ノモノハ未成艇  
ト稱ス

第三十五條 在役艇ニハ水雷團水雷艇  
隊ノ職員中艇長以下ヲ置ク其ノ職務  
ニ關シテハ水雷團條例ヲ適用ス但水  
雷艇隊ニ編入セザル水雷艇ニ在テハ  
水雷艇隊司令ノ職權ハ直屬長官之ヲ  
行フ

第三十六條 豫備艇ハ通常軍港若クハ

要港ニ繫留シ水雷團若クハ要港部ニ  
屬セシメ第三十五條ニ掲クル諸員ヲ  
適宜ニ置クコトヲ得

第三十七條 艦團部等ニ附屬スル艦船  
ニ在テハ乗組先任將校艦船一切ノ命  
令ヲ掌リ其ノ保安ニ任シ其ノ他ノ乗  
員ハ先任將校ノ命ヲ承ケ服務ス

附則

第三十八條 本令ハ明治二十九年四月  
一日ヨリ施行ス

第三十九條 明治二十二年勅令第九十  
九號軍艦條例ハ本令施行ノ日ヨリ廢  
止ス